

梨の花

市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel. 376-5961
<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

縁を生かす

校長 清田 博之

我々、教員は家庭からお子さんをお預かりして生活を共にします。今更ながらですが、「子どもへの影響力が大きい」ということをよく自覚していかななくてはならないということ先日、ある本を読んでいた時に痛感しました。その本の題名は、『小さな人生論』です。ある少年が、ある担任の先生（女性教諭）との「縁」に無限の光を見出し、それを拠り所として、それからの人生を生きたと話です。紹介させていただきます。

その先生が五年生の担任になった時、服装が不潔でだらしない子どもがいました。あるとき、少年の一年生からの記録に目が留まります。

「朗らかで、勉強もよくでき、将来が楽しみ」とありました。記録の間違いかと思ったそうです。二年生。母親が病気で、時々遅刻をする。三年生。母親の病気が悪くなり、教室で居眠りをする。後半には、母親死亡。四年生。父親はアルコール依存症となり、子どもに暴力をふるう。

その先生の胸に激しい痛みが走りました。放課後、少年に声をかけます。「夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強をしていかない？」少年は初めて笑顔を見せました。それから、毎日教室で予習復習を熱心に続けました。

クリスマスの午後でした。少年が小さな包みを先生の胸に押し付けてきました。香水の瓶でした。先生はその一滴をつけ、夕暮れに家を訪ねました。雑然とした部屋で、独り本を読んでいた少年は、気が付くと飛んできて、先生の胸に顔をうずめて叫んだ。「ああ、お母さんのにおい！」六年生は担任ではありませんでした。

卒業の日、先生に一枚のカードが届きます。「先生は僕のお母さんのようです。」

それから六年。また、カードが届きます。

「明日は高校の卒業式です。奨学金をもらって、医学部に進学します。」十年を経て、またカードが来ました。感謝の言葉と父親に殴られた体験があるので患者の痛みがわかる医者になれると。そして、一年。届いたカードは結婚式の招待状でした。

「母の席に座ってください。」と、一行書き添えられていました。

人は誰でも無数の縁のなかで生きています。無数の縁に育まれて、人はその人生を開花させていきます。大事なのは、その縁をどのように生かすかです。

稲荷木小の子どもたちにとって、小学校生活で出会う多くの縁がかけがえのないものになるよう努力していきます。



緊急事態宣言中～2/7 までのアラームセット時刻（学校無人化時間帯）について

1月25日（月）より緊急事態宣言中の
2月7日までの間、アラームセット時刻
（学校無人化）を17：30とさせていただきます。
なお、留守番電話の設定時刻は、
17：15とします。これは、コロナ感染症
から本校の児童を守るために、職員の感染防止
と健康管理を徹底するための措置です。
なお、緊急事態宣言が延長された場合は、
宣言終了までこの措置を延長とします。
上記の時刻以降で緊急の連絡がある場合は、
以下の番号（学校携帯）に連絡をお願いします。



教頭携帯 080（3604）5349（通常6年用）
校長携帯 080（3604）5379（校長用）

ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくをお願いします。

卒業証書授与式についてのお知らせ

3月19日（金）に実施されます卒業式について現段階で決定している内容についてお知らせいたします。なお、感染拡大等の事情により内容が変更になる場合もあることをご了承ください。

- ・卒業式当日の3月19日（金）は、在校生（1年生～5年生）は登校しません。
- ・卒業生の保護者の方の出席は、1家族2名迄とさせていただきます。

☆卒業式の流れ 10：00 開始
（式は1時間弱の予定です。）

- 【卒業生入場】 → 【開式の言葉】 →
【国歌斉唱】 → 【校歌合唱】 →
【卒業証書授与】 → 【学校長式辞】 →
【別れの言葉】 → 【閉式の言葉】

